

地域防災連続セミナー

～しなやかなまち福知山を目指して～

参加
無料

【特別回】後ろから来た災害

急襲型豪雨と避難の難しさ

～福知山・綾部の土砂災害から考える地域と命の守り方～

2023年8月に福知山・綾部・舞鶴地域で発生した「急襲型豪雨」土砂災害の特徴を、市民と大学が共著で記録・分析した論文成果をもとに地域の防災力向上と避難行動について一緒に考えてみませんか。
また、現地の地形や森林状況、避難困難の実態、放置竹林や中世山城跡といった視点も交え、地域に眠るリスクとどう向き合うかを多角的に議論しましょう。

日時

令和7年9月14日(日)14時～16時

場所

市民交流プラザふくちやま 市民交流スペース

定員

80名 どなたでもご参加いただけます。
※当日参加可。
できるかぎり下記二次元コードよりご登録下さい。

プログラム

14:00-14:10	開催の主旨説明 大門大朗(福知山公立大学地域経営学部)
14:10-15:10	課題と実践事例報告—令和5年台風第7号による「急襲型豪雨・土砂災害」から 【地形の問題】小滝篤夫氏(京都府立大学非常勤講師・共同研究員) 【森林の問題】畑中英樹氏(京都府中丹広域局森づくり振興課林業振興係) 【避難の問題】仁張衛氏(大江町蓼原自治会長、福知山自主防災ネットワーク会長)
15:15-15:45	パネルディスカッション—市民ができること
15:45-15:55	質疑応答・意見交換
15:45-15:55	閉会挨拶 水口学(福知山公立大学地域防災研究センター長)



右記QRコードより申込フォームにてお申込みください。

締切：令和7年8月22日(金)



概要：<https://www.fukuchiyama.ac.jp/institutions/bosai/>

問合せ：地域防災研究センター TEL 0773-24-7100

 福知山公立大学

※当日参加も可能です。直接会場へお越しください。

※手話通訳者、要約筆記者(難聴者だけでなく、高齢者、聴こえにくい人に内容を文字で伝える通訳)の派遣を希望される方は、2週間前までに上記QRコード内で申込みいただくか、地域防災研究センターまで直接ご連絡ください。

次回以降のセミナーのご案内

突然の自然災害や災害に対する準備と知識は、私たちの生活や地域の安全を守るために欠かせません。当セミナーでは、各テーマごとに講師に専門家の先生をお招きし、幅広い視点からのアドバイスや情報を提供していただきます。ご家族やご友人と一緒に、地域の安全を共に考える機会として、ぜひご参加ください！

第1回

災害時のリーダーシップについて

～2004年台風23号の経験から～

令和7年 10月24日(金)

講師：中貝 宗治氏

前豊岡市長
福知山公大学立客員教授



第2回

令和7年
11月7日(金)

台湾における官民連携の災害対応

～2024年花蓮地震を事例に～

講師：李勇昕氏（立正大学人文科学研究所・研究員）

第3回

令和7年
11月21日(金)

発災時における地域コミュニティの重要性

講師：谷一 浩平氏 ～能登半島地震における避難所運営と復興について～
(NOTORN代表・七尾市中島町中島小学校避難所運営リーダー)

第4回

令和7年
12月12日(金)

NGOによる市民活動とボランティア(仮)

講師：吉椿 雅道氏（CODE 海外災害援助市民センター・事務局長）

第5回

令和7年
12月19日(金)

東日本大震災から15年をふりかえる

～チーム・オール弘前の原動力とその可能性～

講師：李 永俊氏（弘前大学人文社会科学部・教授）

第6回

令和8年
1月9日(金)

草の根の震災記録は何を駆動させるのか

～阪神・淡路大震災の体験募集事業「30年目の手記」から考える～

講師：高森 順子氏（情報科学芸術大学院大学産業文化研究センター研究員）

第7回

令和8年
2月6日(金)

令和元年台風から生まれた

人形劇「やまのおおじゃくぬけ」

講師：瀬尾 夏美氏（作家・画家）

第8回

令和8年
2月27日(金)

終わりの見えない災害、多重被災の実像

講師：小林 秀行氏（明治大学情報コミュニケーション学部 准教授）

第9回

令和8年
3月22日(日)

能登半島地震から2年を振り返る

～福知山からの支援活動から～



過去のセミナー
アーカイブ配信中！



今後のセミナーも配信していく予定です。是非ご視聴ください！

※見逃し配信を行わない講演もございます。予めご了承くださいませ。